



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	SE谷町5丁目PJ 新築工事	
建設地	中央区内久宝寺町3丁目、谷町5丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	ウルトラエステート(株)	
設計者	(株)ギフトプラスデザイン 一級建築士事務所	
敷地面積	854.58 m ²	
建築面積	483.99 m ²	
延床面積	7,083.77 m ²	
構造/階数	RC造 / 地上15階、地下1階	
完了年(予定)	2026年5月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B-
BEE=0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.4
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

機能性	2.5
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	4.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	3.3
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染の回避に努めた。	Q2 サービス性能 ・置床ユニットやCD管・PF管を採用し、構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地周りに視線を遮るような高い塀等は設けないことで、防犯性に配慮した。 ・緑地を設け、景観性に配慮した。 ・空地を設け、敷地内の歩行者空間等へ風を導き、暑熱環境緩和に努めた。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	LR2 資源・マテリアル ・置床ユニットを採用し、部材の再利用に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・緑地を設け、地表面の温度上昇の抑制に努めた。 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率89%。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4 高効率設備の採用
配慮事項	高効率設備を採用し、運用時のCO2排出の抑制に配慮した。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 緑地を計画
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0 空地を設け、風の通り道を確保
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0 気象データにより風環境を把握
配慮事項	・緑地を設け、地表面の温度抑制に配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0 高性能の断熱材を採用
配慮事項	・断熱材を採用し、断熱性に配慮した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.0 LED照明を採用
配慮事項	・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.90	0.90
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-